

# 保健体育科学習指導案

令和3年10月 第1学年 指導者 高田 繁

1 題材名 「状況に応じた適切な行動選択をしよう」(第1学年・2学期)

## 2 学習指導要領上の位置付け

(1) 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること

(ア) 安全な社会づくり

安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。

(2) 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それら  
を表現すること。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む  
態度を養う。

## 3 目標

安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して次の事項を身に付ける  
ことができるよう指導する。

ア 安全な社会生活について理解を深めることができる。 (知識及び技能)

イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それ  
らを表現することができる。 (思考力、判断力、表現力等)

ウ 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営  
む態度を養うことができる。 (学びに向かう力、人間性等)

## 4 指導計画 ※別紙参照

## 5 本時の展開 (3/3)

### (1) ねらい

デジタル地図検索機能や表計算ソフトを活用したグループワークを通して、危険予測についての自他の考えの根拠を比較・分析することでより適切な行動選択ができるようにする。

### (2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	評価項目<方法（観点）> ○指導上の留意点 ◎研究上の手立て
1 つかむ、取り入れる ・スライドに提示された資料を見て本時のめあてを知る。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">評価項目&lt;方法（観点）&gt;</div> ○スライドに提示された資料を見て交通事故の現状と要因を学び、それらの特徴と自身の行動を比較して振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[めあて] 交通事故を防ぐために、状況に応じて根拠のある判断ができるようにしよう。</p> </div>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドに提示された資料を見て、交通事故が発生している時間や場所、状況などの特徴を理解する。また、群馬県の高校生の自転車による交通事故の特徴を知る。</li> <li>・教科書を読み、交通事故には①主体要因、②環境要因、③車両要因などがかわって起こっている現状を理解する。</li> </ul>	10分	○群馬県の高校生の自転車による交通事故を扱ったり、生徒の実生活に即した内容を扱ったりすることで、「自分事」として捉えられるようにする。
2 出し合う、比べる、まとめる <グループワーク・3～4人> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの通学路における危険箇所を提示し、どのような危険が想定されるか意見を出し合う。</li> <li>・デジタル地図検索機能を活用して、危険箇所の状況を立体的に捉える。</li> <li>・表計算ソフトを活用してグループの意見を投稿する。 「雨で路面が濡れていると…」 「小学生の登校時だと…」 「スピードの出る自転車だと曲がり角が塀で見えづらいので…」</li> <li>・他のグループの意見について話し合う。 「この考え方はいいなと思った」 「色々な考え方が参考になる」</li> </ul>	30分	◎グループワークを実施し協働的に学習する場面を設定する。 ◎自他の意見の違いを比較する思考ツール活用の場面を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             三つの要因の観点から状況に応じた危険予測ができ、判断の根拠となる考えを明示することができる。              &lt;観察・表計算ソフト（思考・判断・表現）&gt;           </div> ○デジタル地図検索機能を活用し、立体的かつ多面的に場面を捉えることができるようにする。 ○表計算ソフトを活用し、実際のそれぞれの通学路における危険箇所についての意見を即時的に共有する。 ○自転車目線と自動車目線のそれぞれの立場から考えさせることで、同じ場面でも異なった捉え方ができるようにする。 ○判断の根拠となる考えを比較しやすくさせるため、「（主体・環境・車両要因が）○○なので、□□に気を付けよう」という根拠を示す表現を用いて記述させるよう促す。

		<p>○自分にはない他者のよい考え方を取り入れられるよう、自他の意見を比較するよう促す。</p>
<p>3 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート作成ソフトを活用して意見や感想を投稿する。</li> <li>「ここがなるほどなと思った」</li> <li>「車目線で状況を捉えることも大事だと感じた」</li> <li>「危険予測ができてもらい事故で重大事故に遭わないようヘルメットを着用しよう」</li> </ul>	<p>10分</p>	<p>○自分の意見と他者の意見とを比較し、どのように考えが変容したかや今後の自分に取り入れたいことを投稿させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自他の考えの根拠を比較し、より健康的な判断ができるよう、自身の考えに取り入れることができている。&lt;観察・アンケート作成ソフト（思考・判断・表現）&gt;</p> </div>

6 板書計画

なし

指導計画 保健体育科 第1学年 題材名「状況に応じた適切な行動選択をしよう」(全3時間計画)

目標	<p>安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 安全な社会生活について理解を深めることができる。 (知識及び技能)</p> <p>イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。 (思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。 (学びに向かう力、人間性等)</p>		
評価規準	<p>(1) 交通事故を防止するために、それぞれの場面における有益な情報を多く取り入れることができる。 (知識・技能)</p> <p>(2) 自他の判断の根拠となる考えを明示・比較し、より健康的な判断ができるよう自身の考えに取り入れることができる。 (思考・判断・表現)</p> <p>(3) 生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにするを旨として学習に取り組むことができる。 (主体的に学習に取り組む態度)</p>		
過程	時間	<p>○ねらい めあて</p>	<p>・振り返り (意識)</p> <p>評価項目 〈方法 (観点)〉</p>
つかむ	1	<p>○提示された交通の場面を切り取ったイラストを基に、どのような危険が潜んでいるか自他の考えを比較する活動を通して、健康的な自己管理をするために有益な情報を多く取り入れることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>自分の考えや判断は本当に正しいのか振り返ろう。</b></p> </div>	<p>・広告のキャッチコピーを鵜呑みにしてはいけないことが分かった。</p> <p>・交通の一場面でも人それぞれ感じていることが違い、取り入れていきたいと思った。</p> <p>・健康的な意思決定・行動選択をするために有益な情報を多く取り入れることができる。〈アンケート作成ソフト(1)〉</p>
追究する	1	<p>○提示された交通の場面を切り取った写真に潜む危険を出し合い、自他の考えを比較・分析する活動を通して、より健康的な判断を基に適切な危険予測ができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>交通事故を防ぐために、状況に応じた判断ができるようにしよう。</b></p> </div>	<p>・色々な観点で場面を捉えた方がよいということが分かった。</p> <p>・自分では危険だとは思いつかなかった状況でも、危険が潜んでいることが分かった。</p> <p>・状況に応じた危険予測ができ、判断の根拠となる考えを明示することができる。〈表計算ソフト(2)〉</p> <p>・自他の考えを比較し、より健康的な判断ができるよう、自身の考えに取り入れることができる。〈アンケート作成ソフト(2)〉</p>
まとめる	1	<p>○デジタル地図検索機能を活用し、立体的に捉えた通学路の一場面における危険を出し合い、主体・環境・車両の3要因の観点から自他の考えを比較・分析する活動を通して、より健康的な判断を基に適切な行動選択ができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>交通事故を防ぐために、状況に応じて根拠のある判断ができるようにしよう。</b></p> </div>	<p>・みんなの判断の根拠を知れて「なるほどな」と感心した。</p> <p>・状況によって色々な判断があることが知れたから、生かしていこう。</p> <p>・三つの要因の観点から状況に応じた危険予測ができ、判断の根拠となる考えを明示することができる。〈表計算ソフト(2)〉</p> <p>・自他の考えの根拠を比較し、より健康的な判断ができるよう、自身の考えに取り入れることができる。〈アンケート作成ソフト(2)〉</p>